

2023年度 日本工学院八王子専門学校											
マンガ・アニメーション科 アニメーションコース											
デッサン実習1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	佐野真隆			実務 経験	有	職種	デッサン講師				
授業概要											
デッサンやクロッキーなどを通じて、観察力や描画力を高めます。											
到達目標											
デッサンの基本的要素(構図、明暗の階調、質感、量感、遠近感など)を理解する。また、自分の絵を客観的に見られるようにするとともに、ものを見る力(観察眼)を養うことで同様に自身の作品に反映させることができるようになる。											
授業方法											
鉛筆でのデッサン実技が授業の主体になる。これまでデッサンの経験の有無は個人差があるため、描き易いモチーフから授業を進めていく。一つの課題が終わるごとに課題作品を講評する。他者の作品と比べることにより、自分の絵のくせや個性を発見できる。描く速度を向上させるために各授業毎に人物クロッキーを5分x2回実施する。											
成績評価方法											
課題作品の評価を主体とする。また、授業参加度や授業態度によって評価する											
履修上の注意											
授業開始時に実技のポイントなどを説明するので遅刻厳禁。クロッキー帳、鉛筆、練り消しゴムは毎回持参すること。課題作品はできるだけ授業時間内で仕上げるように留意すること											
教科書教材											
クロッキー帳、鉛筆、練り消しゴム。参考書・参考資料等は授業中に指示する											
回数	授業計画										
第1回	【ガイダンス、人物クロッキー】クロッキーの基本的な描き方を理解する										
第2回	【幾何形体(多面体)を描く】基本的なデッサンのプロセスを理解する										
第3回	【折紙を描く】面の傾きと明暗の関係を理解する										

2023年度 日本工学院八王子専門学校	
マンガ・アニメーション科 アニメーションコース	
デッサン実習1	
第4回	【塗り絵制作】明暗や質感を鉛筆のトーンで表現する
第5回	【ビンを描く】透明感のある物の描き方を習得する
第6回	【静物デッサン（身の回りのもの）】対象物が魅力的に見える構図やバランスを考えて描く
第7回	【自然物を描く】有機的な形態を捉えて描写する
第8回	【人物クロッキー（2）】作例を見ながら描写し、線や色面についての理解を深める
第9回	【石膏像デッサン(頭像)】基本的な石膏像デッサンのプロセスを理解する
第10回	【石膏像デッサン(胸像)】質感、量感、明度などに注意し、存在感のある作品に仕上げる
第11回	【人物スケッチ】プロポーションに注目して描写する
第12回	【人物スケッチ（2）】線画に対して骨格図を見ながら骨を描き、プロポーションを理解する
第13回	【人物スケッチ（3）】線画に対して筋肉図を見ながら筋肉を描き、プロポーションを理解する
第14回	【動物を描く】動物の写真を見ながら骨格や構造に注意しながら描く
第15回	【静物デッサン(牛骨、布、金属製品)】構図と質感、存在感などを考慮して描写する